

加古川市立図書館だより

ぶっくガーデン

NO.172 - 2017年2月

■ 加古川市立中央図書館 ■
加古川市平岡町新在家1224-7
(TEL) 079-425-5200
(FAX) 079-425-6696
■ 加古川市立加古川図書館 ■
加古川市加古川町木村226-1
(TEL) 079-422-3471
(FAX) 079-425-7048
(URL) <https://www.kakogawacity-library.jp>

温泉と文学

寒い時期は特に温泉の湯が恋しくなります。日本は小さくても温泉大国で昔より日本人の生活に密接に関係しているように思えます。文学者とても然り…。今回は温泉と文学を基本に日本人と温泉文化について取り上げることにします。

- ・「温泉小説」 アーツアンドクラフツ F - オ
夏目漱石以下の近代編9編と井伏鱒二以下の現代編10編の温泉を舞台とした短編小説のアンソロジーです。時代が変わっても温泉に対する日本人の思いは不変。登場する温泉を訪ねてみるのももう一つの楽しみかもしれません。
- ・「小説乃湯」 有栖川 有栖 編 角川書店 .F - シ
この本もお風呂小説のアンソロジー。「古今東西、お風呂にまつわる傑作短編をあつめました」とあるように12編の短編小説が収録されています。純文学、ミステリーからSFやファンタジーまで取り集めた一冊です。
- ・「温泉をよむ」 日本温泉文化研究会 講談社 453.9 - オ
日本人にとって温泉とは何かの視点から、歴史、宗教、医学、博物学、民俗、そして文学と章を立てて温泉文化について考えています。内容的には平易に書かれているので、いつでも手にとることができる本です。
- ・「作家と温泉」 草薨 洋平 編 河出書房新社 910.2 - サ
作家と温泉は切っても切れない関係にあるようです。多くの名作が温泉地の宿で書かれたり、温泉地を舞台として作品になりました。この本は写真を多用して作家と温泉についてくつろぎながら見て楽しめる本になっています。
- ・「文豪が愛し、名作が生まれた温泉宿」 福田 国土 祥伝社 910.2 - フ
文豪は温泉宿を好んだことはかなり明白なことです。全国に無数にある温泉宿から地区別にピックアップして作家と温泉との関係を解説しています。この本も読んでみると、その温泉に行きたくなってきます。
- ・「温泉百話」 中村 昭 青弓社 290.9 - ナ
温泉にまつわる話が100話。内容は泉質やその効果、文人たちが好んだ温泉地、歴史など…。一話が短くまとめられており、温泉の知識を楽しみながら読むことができます。
- ・「湯めぐり歌めぐり」 池内 紀 集英社 911.1 - イ
正岡子規や斎藤茂吉をはじめとした20人の歌人が訪れた温泉について、著者が自分でも出向いて追体験しています。歌人の人となりと各地の温泉についての個性を紹介しています。

■■ 図書館カレンダー ■■

★開館時間 月～土曜日：午前10時～午後8時 日・祝休日：午前10時～午後6時

★休館日 第2・第4月曜日(祝日のときは翌日が休館)、資料整理期間、年末年始(12/29～1/3)

【中央】

2月 13日(月)、27日(月)

3月 13日(月)、27日(月)

【加古川】

2月 13日(月)、27日(月)

3月 13日(月)、27日(月)

図書館からのお知らせ

- 2月13日(月)は設備メンテナンスのため市内図書館が全館休館となります。また、Web(ホームページ)についても停止いたします。ご了承ください。
- 第156回芥川賞・直木賞が決まりました！！

「芥川賞」

山下 澄人 (やました すみと)
『しんせかい』 新潮社(F - ヤ)

神戸市生まれ。倉本聰の富良野塾二期生。劇団 FICTION 主宰。2012、2013 年と芥川賞候補となも受賞ならず。3度目の候補作である本作で受賞。

山下 澄人 の主な著作

「緑のさる」	平凡社 (F - ヤ)
「砂漠ダンス」	河出書房新社 (F - ヤ)
「コルバトントリ」	文藝春秋 (F - ヤ)
「ギッチョん」	文藝春秋 (F - ヤ)
「ルンタ」	講談社 (F - ヤ)
「壁抜けの谷」	中央公論新社 (F - ヤ)

「直木賞」

恩田 陸 (おんだ りく)
『蜜蜂と遠雷』 幻冬舎(F - オ)

青森市生まれ。幼少から長野県、富山県、秋田県、茨城県などで過ごす。早稲田大学卒業後、OL として働くが、1991 年の「六番目の小夜子」が日本ファンタジーノベル大賞候補となり、1992 年に作家デビュー。以後、推理、ファンタジー小説を中心に多くの著作を発表。

恩田 陸 の他の著作

「六番目の小夜子」	新潮社 (F - オ)
「光の帝国」	集英社 (F - オ)
「ドミノ」	角川書店 (F - オ)
「図書館の海」	新潮社 (F - オ)
「夜のピクニック」	新潮社 (F - オ)
「ユージニア」	角川書店 (F - オ)
「中庭の出来事」	新潮社 (F - オ)

他多数

中央図書館

●親子えほんの会(毎月第1金曜日)

- 日時 2月3日
- ① 0歳の子どもと保護者
10:30~10:45
 - ② 1~3歳の子どもと保護者
11:00~11:30

●えほんのじかん(毎月第2・4土曜日)

- 日時 2月11日、25日
15:00~15:30
- 対象 3歳以上の子ども
- 定員 30人(先着順)

●おはなし会(毎月奇数週土曜日)

- 日時 2月4日、18日
15:00~15:30
- 対象 4歳以上の子ども
- 定員 30人(先着順)

すべて開催場所は「おはなしのへや」です。

加古川図書館

●親子えほんの会(毎月第1土曜日)

- 日時 2月4日
11:00~11:30
- 対象 3歳以下の子どもとその保護者
- 定員 15人(先着順)

●おはなし会(毎月第2・3土曜日)

- 日時 2月11日、18日
11:00~11:30
- 対象 4歳以上の子ども
- 定員 15人(先着順)

すべて開催場所は「おはなしのへや」です。

